

物質理工学院-アーヘン工科大学博士課程学生共同指導プログラム 募集要項

東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し、2024年10月1日に東京科学大学が誕生しました。留学に関する各種手続きについては、本応募要領記載の事項から変更となる可能性がありますので予めご了承ください。

物質理工学院では、学院単独で交流協定を締結しているアーヘン工科大学電気工学・情報技術学部へ、物質理工学院の優秀な博士後期課程学生を派遣する学生交流プログラムを実施しています。

このプログラムで採択された学生は、アーヘン工科大学電気工学・情報技術学部の研究室に派遣され、本学またはアーヘン工科大学にて交互に研究を行うことができます。本プログラム所定の要件を修了し、学位審査に合格した場合には、本学の学位に加え、プログラム修了証が授与されます。

今回は **2025年11月～2026年3月**に渡航開始する学生を募集します。応募書類に基づいて英語面接を行い、派遣学生を決定いたします。

募集概要

派遣対象学生	物質理工学院に所属する博士後期課程正規学生
渡航開始	2025年11月1日以降～2026年3月末
留学期間	アーヘン工科大学での研究指導は、原則、最短でも0.5年以上（通算でも可）であること。 なお、標準修業年限の半分以上は本学で指導を受けることが望ましい。 ※正当な理由によっては上記以外での渡航期間も認められるため、個別に相談下さい ※応募1週間前までにご相談下さい。 相談先：物質理工学院国際担当 mct.intl@adm.isct.ac.jp
派遣先	アーヘン工科大学 電気工学・情報技術学部
派遣人数	2名/年 ※アーヘン工科大学側の受入れの事情により、年間の募集人数を調整することがある。
留学費用	原則自己負担だが、物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。 その場合、アーヘン工科大学での研究期間に関わらず、一律の金額で一回のみ支給される。

<p>応募締切</p>	<p>必ず指導教員の先生に事前に相談し、合意を得た上でご応募下さい。 指導教員の先生には、下の応募書類4の同意書に署名頂く必要があります。</p> <p>25年11月出発の場合：9月1日(月)まで 25年12月出発の場合：9月30日(火)まで 26年1月出発の場合：10月31日(金)まで 26年2月出発の場合：11月28日(金)まで 26年3月出発の場合：12月24日(金)まで</p> <p>応募書類提出先：物質理工学院国際担当 (mct.intl@adm.isct.ac.jp)</p>
<p>応募書類</p>	<p>1、プログラム申請用紙(様式1) (応募者本人作成) 2、CV(様式自由, 英語) (別紙サンプル) (応募者本人作成) 3、Letter of Recommendation(様式自由, 英語、指導教員作成) 4、応募学生指導教員同意書 (要指導教員署名)</p>
<p>選考</p>	<p>応募書類提出後、書類審査通過者と日程調整の上、面接を行います。 形式:英語面接(約20分)</p> <p>1. オンライン(Zoom)での面接になる可能性があります。 詳細は書類審査通過者にお知らせします。</p> <p>2. 採択された場合は、両大学の指導教員とともに、「Student Agreement(学生同意書)」に署名をして頂きます。詳細は採択後にご案内します。</p>
<p>注意事項</p>	<p>1. 採択された学生は、下記の手続き案内を確認の上、出発のおよそ2か月前までには、必要な手続きを開始してください。 留学等海外渡航手続き</p> <p>2. 各自の責任の下、然るべき入国ビザを取得してください。ビザ申請に必要な書類のいくつかは留学先が発行してくれますが、自分でも調べてください。</p> <p>3. 宿舎や航空券は各自で手配してください。(特に宿舎は、留学先の担当者の協力・紹介を得られないか相談してください。)</p> <p>4. 渡航にあたっては本学が指定する海外旅行保険及び危機管理サービスに加入してください。詳細は、派遣決定後にお知らせします。</p> <p>5. 帰国後1か月以内に、留学報告書を提出してください。物質理工学院国際委員会で留学報告をお願いする場合があります。また、報告書の全文、または一部はWebで広く公開いたします。</p> <p>その他、質問等がありましたら 物質理工学院国際担当 (mct.intl@adm.isct.ac.jp)までお尋ねください。</p>